

諏訪之瀬島の地殻変動*

Crustal Deformations of Suwanose-jima Volcano

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第 1 図及び第 2 図は、諏訪之瀬島の GNSS 連続観測結果である。

第 1 図上段に基線の配置を、中段には各観測局の保守履歴、第 1 図下段には基線長変化グラフを示した。「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の影響を受け、基線（1）「枕崎」－「十島」でわずかな短縮が見られる。

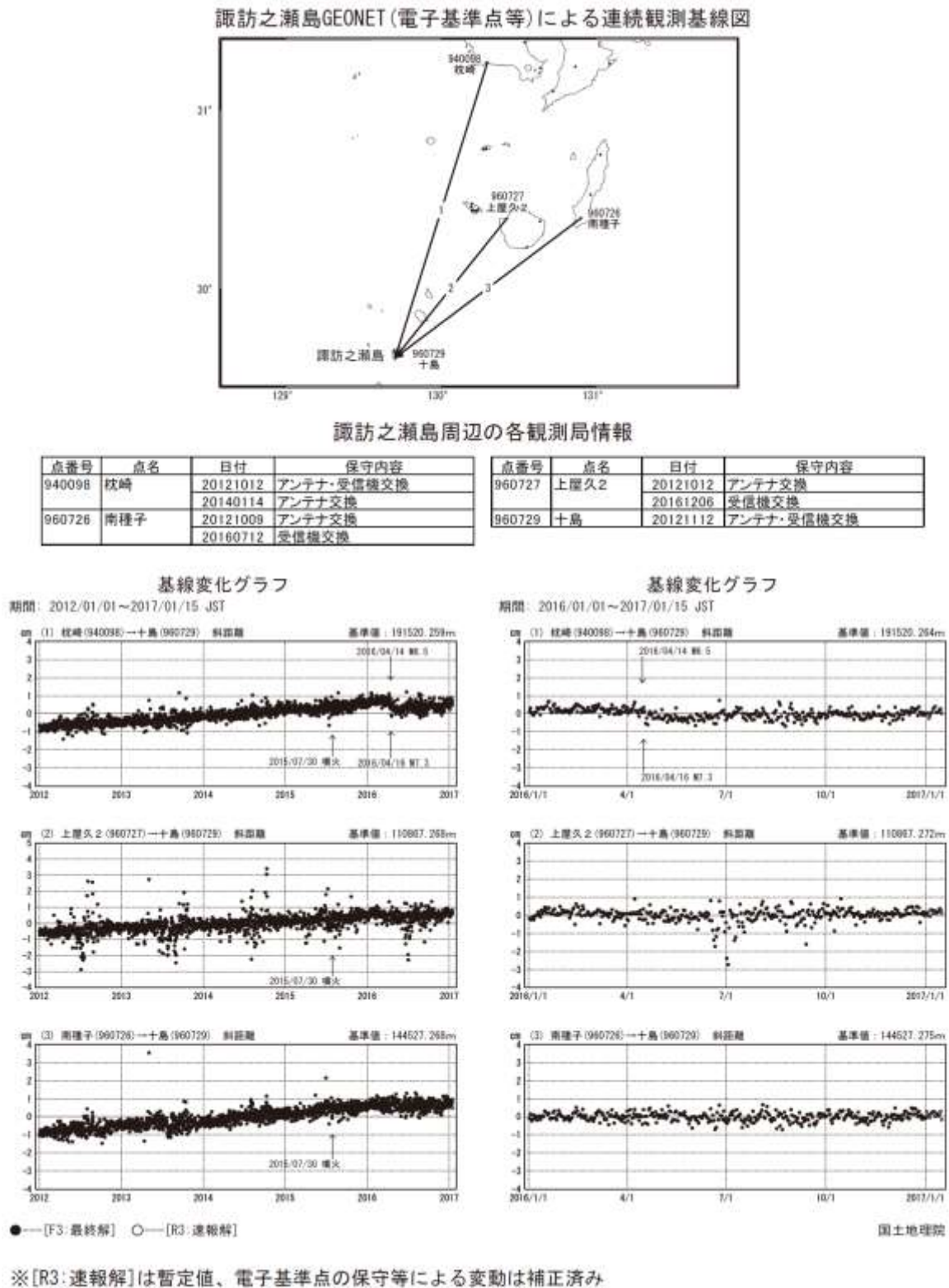
第 2 図は GNSS 観測点における最近約 3 ヶ月間（2016 年 9 月～2016 年 12 月）の水平変動ベクトル図であり、「枕崎」を固定局としている。目立った変動は見られない。

第 3 図は、「だいち 2 号」の SAR 干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

謝辞

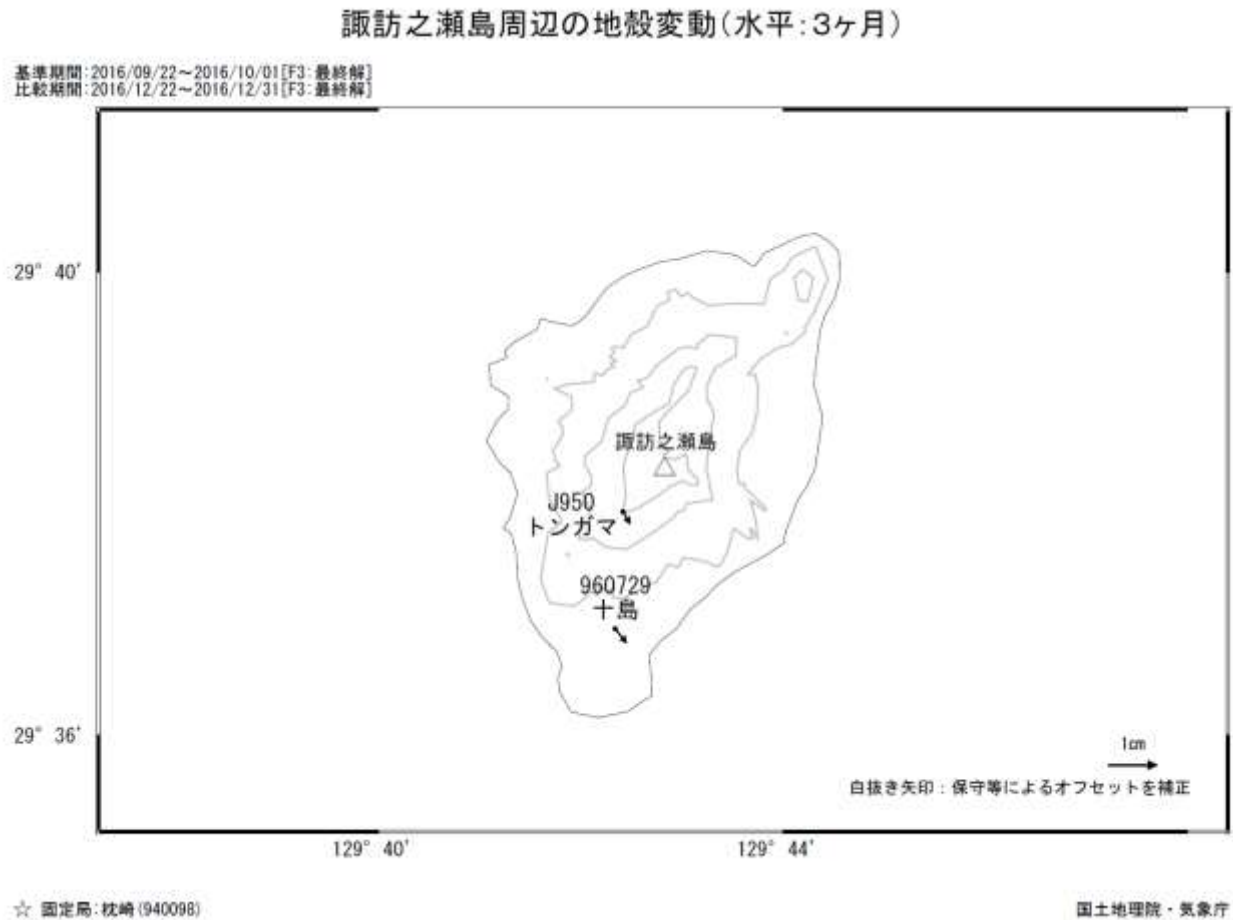
ここで使用した「だいち 2 号」の原初データの所有権は、JAXA にあります。これらのデータは、「だいち 2 号」に関する国土地理院と JAXA の間の協定に基づき提供されました。

* 2017 年 3 月 21 日受付



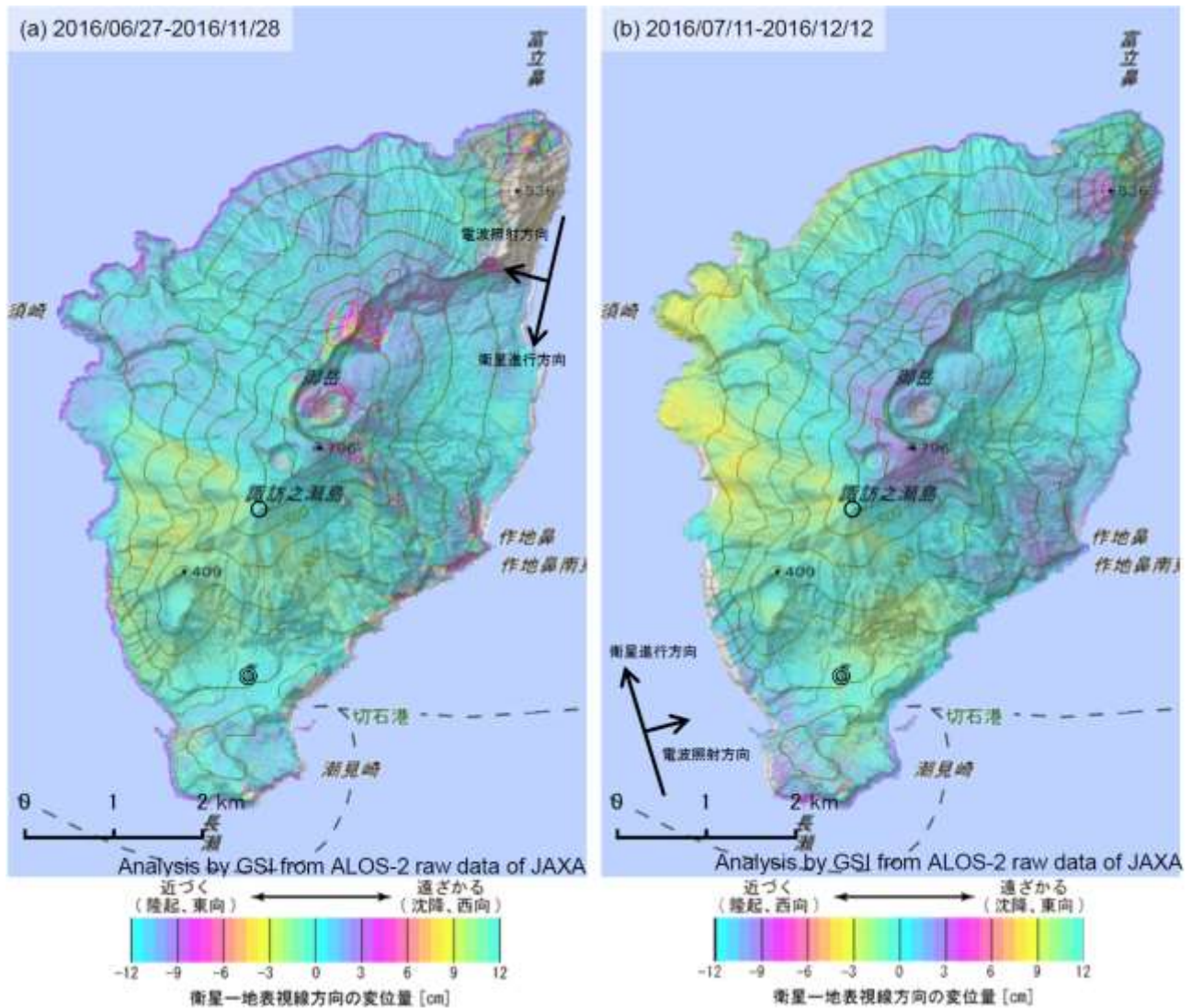
第1図 諏訪之瀬島のGNSS連続観測基線図(上段)、観測局の保守履歴(中段)、基線変化グラフ(下段 左列:2012年1月~2017年1月、右列:2016年1月~2017年1月)

Fig.1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network of Suwanose-jima Volcano; (middle) History of site maintenance; (lower) Time series of baseline length (left) from January 2012 to January 2017, (right) from January 2016 to January 2017.



第2図 諏訪之瀬島の電子基準点・気象庁GNSS観測点統合解析による水平変動ベクトル図 (2016年9月~2016年12月)

Fig.2 Horizontal displacements by combined analyzing system of GEONET and JMA stations of Suwanose-jima Volcano from September 2016 to December 2016.



	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2016/06/27 2016/11/28 12:19 頃 (154 日間)	2016/07/11 2016/12/12 0:25 頃 (154 日間)
衛星進行方向	南行	北行
電波照射方向	右	右
観測モード*	U-U	U-U
入射角(中心)	39.0°	43.0°
偏波	HH	HH
垂直基線長	-285 m	+12 m

*U: 高分解能(3m)モード

- ◎ 国土地理院 GNSS 観測点
○ 国土地理院以外の GNSS 観測点

背景：地理院地図 標準地図 及び 陰影起伏画像・傾斜量画像(国土地理院作成)

第3図 「だいち2号」 PALSAR-2 による諏訪之瀬島の解析結果

Fig.3 Interferometric analysis of SAR acquired by ALOS-2 PALSAR-2 of Suwanose-jima Volcano.